

各 位

平成17年8月18日

会 社 名 株式会社エス・サイエンス
代表者名 代表取締役社長 品田 守敏
コード番号 (5721 東・大証第1部)
問合せ先 常務取締役 太田 洋三
TEL (03) 3216 - 6431

中間業績予想(連結)の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年5月30日の決算発表時に公表した当年度中間期(平成17年4月1日～平成17年9月30日)の連結業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 18年 3月期中間業績予想(連結)数値の修正(平成17年 4月 1日 ~ 平成17年 9月 30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年 5月30日 発表)	4,170	70	110
今回修正予想(B)	4,170	170	320
増減額(B - A)		100	210
増減率(%)		142.8	190.9
前期(平成16年9月中間期)実績	1,386	379	387

2. 理 由

当第1四半期は、当社の主力のニッケル事業は期初からLME価格の急騰による買い控えにより売上高は計画を下廻りましたが収益は確保され又、環境事業・金属事業及び特別事業の売上ならびに収益が上期計上となったことおよび一部費用の支出がリストラならびに増資費用等が削減され収益改善がなされたこと等により四半期の経常利益・四半期純利益が計画を上回りました。

又、子会社の(株)ウイン、(株)修学社の売上高・経常利益は当初のほぼ計画通りとなる見込みであります。が、(株)ウイン、関係会社の(株)東理ホールディングスの純利益は、大幅に上方修正される見込みであります。

その結果、上記のとおり中間期の経常利益・中間純利益を上方修正いたしました。

なお、下期において計上する予定でありました売上並びに収益が中間期までに計上されたため、下期業績予想につきましては減益となりますが、通期の修正につきましては現時点で新規事業等の未確定な部分もあるため修正しておりませんが、中間決算発表の時点で見直しをいたします。

又、子会社(株式会社修学社)において8月2日に発生したパソコンによる255百万円の盗難事件(本年8月8日発表済み)については、今後の子会社からの連絡を待ちまして対処したいと思っております。

(注) 上記の業績見通しは、現時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。

以 上